INTEROP®

TOKYO | 9 – 13 JUNE, 2014

To the Next Connected World

次のインターネット革命で生き残る条件

ー最新テクノロジーをビジネスへ活かす方法はココでしか学べないー

カンファレンス プログラムガイド

ネットワークとITの今をひもとく全32セッション

事前登録受付中

カンファレンス登録がお得に!

本ガイドをダウンロードしていただいた方限定
ご優待割引コード進呈!

ご優待5%割引コード

4P666eH

今年はよりアクセスしやすい都内で開催

●会期/6月9日(月)~10日(火)　●会場/AP品川

同封のFAX申込用紙かオンライン登録受付中!

事前登録・
最新情報はコチラ >>> http://www.interop.jp/

INTEROP®
TOKYO | 9 – 13 JUNE, 2014

To the Next Connected World

次のインターネット革命で生き残る条件

ー最新テクノロジーをビジネスへ活かす方法はココでしか学べないー

1994 年から 20 年間にわたって開催されている Interop Tokyo のカンファレンスは、総 論的な内容に留まらず、最先端の ICT 技術の動向と現状を把握し、それを新しいビジ ネスにつなげていく力とするために必要な情報を参加者に提供しています。カンファレンスのプログラムは、業界のキーマンで編成されるプログラム委員会によ る徹底議論を経て決定されます。2014 年のカンファレンスは、いままさに起こりつつ ある「次のインターネット革命」を生き抜くために必要な、「新しいインターネッ ト」「新しいテクノロジー」「新しい市場」について幅広くカバーする 32 のセッショ ンで構成しています。

また、本年より、会場を都内会場にうつし、幕張メッセで開催される展示会の開催会 期前に開催します。この Interop Tokyo カンファレンスで知識を蓄えたあと、展 示会にも参加すれば、次 のインターネット革 命 - The Next Connected World - をより深く体験していただくことができるでしょう。

皆様が「次のインターネット革命」を生き抜くために、Interop Tokyo カンファレン スにぜひご参加ください。

プログラム委員会議長からのご挨拶



江崎　浩
Dr.Hiroshi Esaki
Interop Tokyo 2014 プログラム委員会議長
東京大学大学院
情報理工学系研究科　教授

2013 年、安倍政権の登場とともに、IT 戦略本部の再起動が行われ、再び、IT を用いた社会イノベーションと社会・産業の活性化を目指した政策・施策が進展しつつあります。

まさに、To the Next Connected World への挑戦です。その大きな方向性は、(1) 成長戦略、(2) グローバル展開、そして、(3) 持続的イノベーションの実現 にあります。また、2014 年は、2020 年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに向けた仕込みの年にもなります。

世界最高品質のスマートシティー東京を、最先端のインターネット技術を駆使して実現しなければなりません。世界最高の競技の様子を、最先端技術を用いて世界中で共有するばかりではなく、東京・日本を訪れた方々に対して、最先端技術を用いて、最高の「お・も・て・な・し」を実現しなければなりません。

日本のように、ブロードバンド・インターネット環境が整備された国は他にはなく、さらに、インターネット技術を駆使したスマートな社会インフラを持った国には他にはないわけですが、2020 年に向かって、我々は、さらにこの 世界最高品質の社会インフラをアップグレードする機会を頂いたと考えるべきでしょう。

Interop Tokyo は、1994 年にスタートし、インターネット関連産業のビジネスの最前線のショールームとしての役割を果たしてきました。

Interop Tokyo がスタートした 1990 年代は、有線を用いたシステムであり、また、電話会社とメインフレームベンダがサービスを提供する ベンダ・プロバイダ主導だったシステムを、ユーザ主導型に変革するイノベーションが進行した時期でした。その後、携帯電話の普及や WEB サービスの展開は、インターネットを、ユーザ主導からプロバイダ主導型へと変化させました。この傾向は、2007 年に、同時に登場した、スティーブジョブスが率いるアップル社が市場投入した i-Phone と、アマゾン社が市場投入した AWS (Amazon Web Service) を契機に激変を遂げました。クラウド革命とスマートフォン革命です。この 2 つの革命は、2000 年代前半のプロバイダ主導型のインターネット市場を、再び、しかし、これまでとは異なった「ユーザ主導」へと変化させました。

1990 年代後半に第 1 次データセンタブームが起こり、現在、第 2 次データセンタブームが起こっていることは、(モバイルガジェットを主役にした) ユーザ主導型のインターネットシステムのビジネス構造が進展しているということと、興味深い共通点を持っているように見えます。「ユーザ主導」のビジネスモデルにおいては、プロバイダ側が考えるある意味「堅い」ビジネスではなく、多様でユニークなビジネスのアイデアが、市場で試され、成功し急成長を遂げる事例が多数出てきます。

IaaS クラウド基盤を用いた PaaS や SaaS の登場や、SDN(Software Defined Network) の登場は、これまでとは、まったく異なるインターネットインフラの出産過程を見ているように思えます。

SDN や NFV に代表される、コンピュータ、ネットワーク、さらに機能の仮想化を前提とした、クラウドコンピューティングの進化と深化、スマートフォンや IoT デバイスに代表されるモバイル端末の真の意味でのインターネット化は、サービス提供に必要なハードウェアの制約を劇的に削減することに成功し、既に、スマートフォンとサーバのハードウェアに依存しない仮想的なハードウェアを自由に変化させることを可能にしつつあります。

これは、BYOD(Bring Your Own Device) の進展にも象徴されています。これは、ちょうど、UNIX と マイクロソフト Windows が、ハードウェアに依存しない OS として、登場したことによって、それまでの、ベンダ・プロバイダ型の市場が、ユーザ主導の市場へと変化したことと同じ現象ととらえることができます。その結果、急激に、一般ユーザの コミュニケーションの形態が、マルチスクリーン化とユニファイドコミュニケーション化しています。

さて、ベンダ・プロバイダ型のビジネス構造がユーザ主導型のビジネス構造への変革と物理的守備範囲の拡大は、インターネット産業だけではなく、エネルギー産業をはじめとするすべての産業セグメントで起こりつつあります。このトリガーとなったのは、「グリーン ICT とビッグデータ」であり、これを、支え加速させているのが、「第 2 次データセンタブーム」ととらえることができます。データセンタに格納された大量のデータが、最先端の解析技術を用いて新しい価値を生み出す「ビッグデータビジネス」の登場です。インターネットが、2 回目のユーザ主導型市場を形成しつつあり、そのビジネス領域は、これまでの人と人とを結ぶインターネットから、電力システムや工場など、クリティカルシステムを含む すべての社会基盤に存在する「モノ」を相互接続するものへと変化しつつあります。その結果、これまで以上に、頑丈なセキュリティー機能を持ったシステムの構築が必須となることも、認識され、我が国の最重要課題の一つとされることになりました。

Interop Tokyo に参加される皆様には、この機会を最大限に活用していただき、最先端の ICT 技術の動向と現状を把握し、次のインターネット革命を生き抜くに資する、叡智を発見・体験する契機としてご利用いただければ幸いでございます。

Contents

プログラム委員会議長からのご挨拶…… 2
Interop Tokyo 2014 プログラム委員会…… 3
カンファレンス　スケジュール／6月9日(月)…… 4
カンファレンス　スケジュール／6月10日(火)…… 5
私のお薦めセッション……6
カンファレンス概要…… 8
カンファレンス参加料金…… 16
カンファレンス参加要項

■Interop Tokyo 2014 カンファレンス開催概要
会期：2014年6月9日(月)- 10日(火)
会場：AP 品川
主催：Interop Tokyo 実行委員会
運営：一般財団法人インターネット協会
株式会社 ナノオプト・メディア

Interop Tokyo 2014 プログラム委員会

議長

江崎　浩　東京大学大学院　情報理工学系研究科　教授

副議長

門林　雄基　奈良先端科学技術大学院大学　情報科学研究科　准教授

ファウンダー

高橋　徹　株式会社インターネット戦略研究所　代表取締役会長

アドバイザー

冲中　秀夫　KDDI 株式会社　顧問　工学博士
近藤　邦昭　株式会社まほろば工房　代表取締役
砂原　秀樹　慶應義塾大学大学院　メディアデザイン研究科 教授 / 工学博士
藤原　洋　株式会社ナノオプト・メディア　代表取締役社長

アドバイザー&エディター

本林　良太　日本電気株式会社　コーポレートマーケティング本部　マネージャー

プログラム委員

伊勢　幸一　株式会社データホテル　情報環境技術研究室　執行役員室長
榎本　瑞樹　日商エレクトロニクス株式会社　マーケティング本部 第二マーケティング部　部長
大江　将史　大学共同利用機関法人　自然科学研究機構　国立天文台　天文データセンター　助教
クロサカ　タツヤ　株式会社企　代表取締役
高橋　正和　日本マイクロソフト株式会社　チーフセキュリティアドバイザー
田中　邦裕　さくらインターネット株式会社　代表取締役 社長
西　宏章　慶應義塾大学　理工学部　教授
野村　祐士　株式会社富士通研究所
システムソフトウェア研究所　システムマネジメント研究部　主任研究員
福智　道一　BBIX 株式会社　専務取締役 兼 COO
山下　達也　NTT コミュニケーションズ株式会社　先端 IP アーキテクチャセンタ　所長
吉野　正則　シスコシステムズ合同会社　執行役員　システムズエンジニアリング担当

(以上、五十音順敬称略　2014年4月1日現在)

※本ガイド記載情報は 2014 年 4 月 18 日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

カンファレンスガイド

今年はアクセスしやすい都内会場で開催!!
会場：AP 品川

6月9日（月）

公式サイト：http:/www.interop.jp/
聴講有料 :Web からの事前登録制

10:30〜12:00

C1-01
ワイヤレス LAN 技術 〜広がり続ける帯域と用途〜

チェア
河口　信夫　名古屋大学

スピーカー
小林　佳和　日本電気株式会社
古川　裕康　シスコシステムズ合同会社

C2-01
ビジネスシーンにおける ビッグデータの利活用と それを支える組織

チェア
砂原　秀樹　慶應義塾大学大学院

スピーカー
小間　基裕　ヤフー株式会社
衣目　麻里　ヤフー株式会社

C3-01
表も裏も知らずには使えない インターネット暗号通信 〜インターネット暗号通信を 安全に使うための必須知識〜

チェア
門林　雄基　奈良先端科学技術大学院大学

スピーカー
林　達也　株式会社レビダム
菅野　哲　NTT ソフトウェア

C4-01
急激な進化を遂げる SSD 新技術のロードマップ

チェア
田中　邦裕　さくらインターネット株式会社

スピーカー
田中　陽一郎　株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社
岡田　圭介　日本サムスン株式会社
田口　栄治　インテル株式会社

12:50〜14:20

C1-02
Beyond Zero-day attack 〜ゼロデー攻撃をめぐる攻防〜

スピーカー
高橋　正和　日本マイクロソフト株式会社
新井　悠　トレンドマイクロ株式会社

C2-02
モバイル時代のインターネット 〜ソーシャルプラットフォーム 設計最前線から〜

チェア
平井　則輔　ソフトバンク BB 株式会社

スピーカー
中里　昌弘　GMO インターネット株式会社
黒河内　倫　グリー株式会社
吉野　純平　株式会社ミクシィ
岩崎　磨　楽天株式会社

C3-02
インターネットトラフィック 2014

チェア
永見　健一　株式会社インテック

スピーカー
福田　健平　NTT コミュニケーションズ
熊木　健二　KDDI 株式会社
福田　健介　大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

C4-02
これからのデータセンタを知る! 〜 DCIM による大規模化対応〜

チェア
須藤　武文　さくらインターネット株式会社

スピーカー
神林　飛志　株式会社ノーチラス・テクノロジーズ

ほか調整中

14:40〜16:10

C1-03
NFV の現状と可能性

チェア
大垣　健一　KDDI 株式会社

スピーカー
安田　歩　NTT コミュニケーションズ
藤本　幸一郎　日本電気株式会社
菅原　継顕　Palo Alto Networks

C2-03
激変・進化する アジアインターネットビジネス

チェア
江崎　浩　東京大学大学院

スピーカー
南　陽　NTT コミュニケーションズ
大瀧　浩一郎　NTT コミュニケーションズ
川村　聖一　ビッグローブ株式会社

C3-03
DNS HotTopics 2014

チェア
松崎　吉伸　株式会社インターネットイニシアティブ

スピーカー
竹田　茂馬　楽天株式会社
図師　稔　NTT コム ソリューション &エンジニアリング株式会社

C4-03
ソーシャルサービスクラウドでの SSD活用術

チェア
伊勢　幸一　株式会社データホテル

スピーカー
長野　雅広　LINE 株式会社
今井　雄太　アマゾンデータサービスジャパン 株式会社

16:30〜18:00

C1-04
公共無線 LAN： 災害に備えての役割と運用

チェア
大江　将史　大学共同利用機関法人 自然科学研究機構　国立天文台

スピーカー
佐藤　将　宮城県石巻市役所
人見　高史　シスコシステムズ合同会社

C2-04
海外クラウド事業者から見る 日本市場と攻略法

チェア
伊勢　幸一　株式会社データホテル

スピーカー
田中　邦裕　さくらインターネット株式会社
新島　智之　日本アイ・ビー・エム株式会社
砂金　信一　日本マイクロソフト株式会社

C3-04
IPv6 HotTopics 2014

チェア
江崎　浩　東京大学大学院

スピーカー
西塚　要　NTT コミュニケーションズ
橋　俊男　グリー株式会社
印南　鉄也　シスコシステムズ合同会社

C4-04
これからのデータセンタを知る! 〜配電と配線編〜

チェア
西　宏章　慶應義塾大学

スピーカー
当麻　哲哉　慶應義塾大学大学院
村　文夫　NTT データ先端技術株式会社
宍戸　隆志　さくらインターネット株式会社
鯉渕　道紘　大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

「次のインターネット革命」を生き抜くために必要な、「新しいインターネット」「新しいテクノロジー」「新しい市場」について幅広くカバーする 32 のセッション

6月10日(火)

公式サイト：http:/www.interop.jp/

聴講有料 :Web からの事前登録制

10:30〜12:00

C1-05
SDN ソルーション
〜生き残るための条件を考える〜

チェア
伊勢　幸一　株式会社データホテル

スピーカー
高嶋　隆一　ミドクラジャパン株式会社
井上　一清　株式会社 IDC フロンティア

C2-05
ネットワーク仮想化技術：
L3 オーバーレイ方式の進化の行方

チェア
早川　浩平　シスコシステムズ合同会社

スピーカー
進藤　資訓　ヴイエムウェア株式会社
高添　修　日本マイクロソフト株式会社
及川　尚　シスコシステムズ合同会社

C3-05
トラブル対策と DevOps に活かす
システム運用ビッグデータ

チェア
野村　祐士　株式会社富士通研究所

スピーカー
狩野　弘　株式会社富士通エフサス

ほか調整中

C4-05
成長戦略の柱となる
通信政策の本質

チェア
クロサカ　タツヤ　株式会社企

スピーカー
橋本　岳　衆議院議員・自民党

ほか調整中

12:50〜14:20

C1-06
IoT：
新市場と基礎・革新技術の予測

チェア
中村　秀治　株式会社三菱総合研究所

スピーカー
今泉　英明　株式会社トヨタ IT 開発センター
遠藤　雄太　Cisco Systems

C2-06
Ethernet Fabric：
SDI/SDN 時代に要求される機能

チェア
本林　良太　日本電気株式会社

スピーカー
濤川　慎一　ジュニパーネットワークス株式会社
小宮　崇博　ブロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社
水島　勇人　シスコシステムズ合同会社

C3-06
Software-Defined Infrastructure を
支える次世代仮想化基盤アーキテクチャ

チェア
榎本　瑞樹　日商エレクトロニクス株式会社

スピーカー
尾形　真　有限責任監査法人トーマツ
清水　亮夫　Nutanix 合同会社

C4-06
自治体版 IT 戦略
〜自治体の IT 化〜

チェア
クロサカ　タツヤ　株式会社企

スピーカー
三木　浩平　千葉市　CIO 補佐監
阿部　博則　KDDI 株式会社
大泰司　章　一般社団法人日本情報経済社会推進協会

14:40〜16:10

C1-07
ビッグデータとプライバシ
〜日本の指針と世界の潮流〜

スピーカー
菊池　浩明　明治大学
松本　泰　セコム株式会社
佐藤　慶浩　日本ヒューレット・パッカード株式会社

C2-07
SDN 革命：ルータ・スイッチに
何が起こっているのか?

チェア
中田　敦　日経 BP 社

スピーカー
兵頭　弘一　アリスタネットワークス ジャパン合同会社
石黒　邦宏　株式会社ストラトスフィア
小宮　崇博　ブロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社
宮永　直樹　日本電気株式会社
及川　尚　シスコシステムズ合同会社

C3-07
デスクトップ仮想化
Top3 ベンダのビジネス戦略

チェア
榎本　瑞樹　日商エレクトロニクス株式会社

スピーカー
飯島　徹　ヴイエムウェア株式会社
竹内　裕治　シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
高添　修　日本マイクロソフト株式会社

C4-07
自治体版 IT 戦略
〜 IT 企業誘致〜

チェア
クロサカ　タツヤ　株式会社企

スピーカー
調整中

16:30〜18:00

C1-08
モバイルネットワーク
VS スマホアプリ最前線

チェア
田中　邦裕　さくらインターネット株式会社

スピーカー
伊藤　孝史　株式会社 NTT ドコモ
荒川　雄司　ソフトバンクモバイル株式会社

C2-08
ルータ開発
〜生き残るルータはどれだ?〜

チェア
大江　将史　大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台

スピーカー
大久保　修一　さくらインターネット株式会社

ほか調整中

C3-08
実践・事業継続マネジメント (仮)

チェア
野村　祐士　株式会社富士通研究所

スピーカー
伊藤　毅　株式会社富士通総研

ほか調整中

C4-08
オープンデータで儲けるために必要なこと
〜ビジネス事例の分析〜

チェア
クロサカ　タツヤ　株式会社企

スピーカー
庄司　昌彦　国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

ほか調整中

INTEROP®

TOKYO | 9 – 13 JUNE, 2014

私のお薦めセッション



東京大学大学院
情報理工学系研究科　教授
江崎　浩

1993 年 11 月株式会社インターネットイニシアティブによって、日本での商用インターネットサービスが開始されて、20 年の月日が経過しましたが、インターネットでは、依然として革新的なサービスやビジネス、そして技術が登場し続けています。インターネットの普及により、IPv4 アドレスは既に枯渇し、我が国においては、2014 年、NTT グループを中心にした戦略的なインフラの対応が展開され、いよいよ IPv6 の本格的な導入が始まります。その結果、IPv6 の問題は、2014 年から、モバイルやアプリケーションなど、新しい段階への挑戦に突入します。また、WEB 技術を前提にしたアプリケーションの展開は、これまでのインターネットのトラフィック特性を根本的に変えようとしています。過去には、ブロードバンド環境の出現、P2P 技術によるコンテンツ共有アプリケーションの登場、YouTube に代表される動画コンテンツの本格展開など、革新的な技術・サービスの出現によって、インターネットのトラフィックが劇的に変化してきました。インターネットトラフィックの現状と過去を把握することによって、そこに隠れている未来の姿が見えてくるかもしれません。実トラフィックの解析結果は、インターネットの姿を鏡のように映し出してくれます。一方、インターネットの一般社会への普及は、安全で安心なサービスを、誰でも簡単にどこからでも利用できなければならないということを、当然のこととしました。その結果、特に最近は、グローバルな空間での IP アドレスとドメイン名の管理は、常に、国との戦い、そして、インターネットに接続される計算機の数との戦いとなっています。クラウドや SDN なと、仮想化技術の導入は、インターネットに接続される計算機の数を爆発させつつあります。このような環境でもインターネットは動作しつづける責任を持っています。インターネットのコアで何が起こっているのかを把握するこれらのセッションは、現状の問題を正確に理解・把握することの手助けとなるでしょう。

■ Interop Core

- **C3-02　インターネットトラフィック 2014**
- **C3-03　DNS HotTopics 2014**
- **C3-04　IPv6 HotTopics 2014**

私のお薦めセッション



奈良先端科学技術大学院大学
情報科学研究科　准教授
門林　雄基

『リスクを克服し価値創造へ』

プライバシ、サーベイランス、サイバー攻撃。これら 3 つのキーワードは今年、インターネットを活用し新事業を推進するときに必ず出てくるキーワードだと言えるでしょう。しかしインターネットをリスクと同一視してネット活用型の事業を敬遠するのは、高速道路をリスクと同一視して高速道路を活用しないのと同じぐらいナンセンスなことだということは皆さんもご存じの通りでしょう。情報スーパーハイウェイ構想が実現されたいま、リスクを克服し、情報スーパーハイウェイの大いなる可能性を享受する企業が飛躍的に成長していることは、さまざまな事実から読み取ることができます。Interop の基調講演の変遷をみても、数年前の新興企業がいまや大企業として並び立つ様子は感慨深いものがあります。

いまやインターネットを活用するすべてのビジネスにおいて、果敢にリスクと対峙し、リスクを克服し価値創造につなげることが求められていると言えます。そのためにリスクを知り、リスクと対峙する術を知り、リスクをとりまく社会的コンセンサスを知るためのセッションを用意しました。

■ セキュリティ・プライバシー

- **C3-01　表も裏も知らずには使えないインターネット暗号通信**
  〜インターネット暗号通信を安全に使うための必須知識〜
- **C1-02　Beyond Zero-day attack**
  〜ゼロデー攻撃をめぐる攻防〜
- **C1-07　ビッグデータとプライバシ**
  〜日本の指針と世界の潮流〜

私のお薦めセッション



さくらインターネット株式会社
代表取締役 社長
田中　邦裕

インターネットと、インターネット上で動作するアプリケーションを支えてきたデータセンタは、クラウド時代とモバイル時代を迎え、これまでとは比較にならないほど、注目を浴びています。そのような中で、データセンタへ最先端の技術が投入され、処理性能、信頼性、エネルギー効率など、さまざまな側面において進化が続いています。例えば、これまでのサーバアーキテクチャでボトルネックとなっていた、ディスク I/O の遅さを抜本的に解決する半導体ディスク (SSD：Solid State Drive) の導入が急激に進行していたり、直流給電による電力供給効率の向上とスペースの有効利用が取り組まれていたり、統合的なエネルギー管理によるエコの実現をしたりなど、さまざまな施策がとられています。また、フェイスブックが主宰する OCP(Open Compute Project) では、データセンタを構成するすべての構成要素を Open と DevOps の思想に基づいて、フルスクラッチで設計する取組みに着手していることも注目されます。これら 2014 年の最先端のデータセンタに関する 重要なトピックスを掴むチャンスをお見逃しなく。

■ データセンタ

- **C4-01　急激な進化を遂げる SSD 新技術のロードマップ**
- **C4-02　これからのデータセンタを知る!**
  〜 DCIM による大規模化対応〜
- **C4-03　ソーシャルサービスクラウドでの SSD 活用術**
- **C4-04　これからのデータセンタを知る!**
  〜配電と配線編〜

私のお薦めセッション



株式会社データホテル
情報環境技術研究室　執行役員室長
伊勢　幸一

2010 年以後、クラウドサービスに牽引されてきた国内のデータセンタ、ホスティング市場は、ここに来て若干失速してきた気配を感じます。国内データセンタ市場の予想成長率は年々下方修正され、郊外型だけではなく都市型のデータセンタも供給過剰気味となり、今後ますます価格競争が激化していく事でしょう。しかし、スマートフォンや携帯ゲーム機などPC以外の機器がインターネットアクセスデバイスとして広く認知されて利用されはじめ、日本や欧米はもとより、インターネットユーザ数が加速度的に増加しているアジアやアフリカなどでも今後 IOT 市場がますます活性化していく可能性があります。市場では IOT 時代の新しいインターネットサービスと技術、そしてビジネスモデルが待ち望まれており、事業者にとっても国内市場だけを対象とするのではなく、海外市場向けや海外からアジアへ進出しようとする外資系企業向けのサービスを展開し、日本がアジア市場におけるビジネスハブの役割を担えるように対応していかなければなりません。世界のインターネット勢力バランスが大きく変わろうとしている今、今回のカンファレンスはその潮流や動向を正しく認識し、対応を図るためのヒントや手助けとなる事でしょう。

■ ニュービジネスクリエイション

- **C2-03　激変・進化するアジアインターネットビジネス**
- **C1-06　IoT：新市場と基礎・革新技術の予測**
- **C2-04　海外クラウド事業者から見る日本市場と攻略法**

To the Next Connected World
私のお薦めセッション

私のお薦めセッション



日本電気株式会社
コーポレートマーケティング本部　マネージャー
本林　良太

SDI/SDN (Software-Defined Infrastructure/Networking) が、“ ブーム ”“ 元年 ”“ 生みの苦しみ ” などと言われ続けて数年が経ちました。しかしこの間、議論の収束と実装とは着実に進んできています。たとえばバーチャルオーバレイの方式では、VXLAN (Virtual eXtensible Local Area Network) が一歩抜け出した感があります（まだまだ議論は続いています）。いまは “Northbound”、すなわち上位レイヤからの制御の拡充を目指した、“オープン化”の動きが一番の注目点でしょう。とはいえユーザの視点では、実導入のためには、「サーバとネットワーク」や「仮想サーバと物理（ベアメタル）サーバ」の統合管理への対応も欠かせません。これらの需要に応えようと、各社から多種多様な「管理ソリューション」が整えられてきています。
こうしたサーバインフラを支えるネットワークは、高可用・高効率・多機能な “ アンダーレイ ” であることが前提となりましょう。多額の費用を投じて独自 ASIC の開発に挑み続けるベンダもある中で、一方では「Broadcom 製の汎用チップに Cumulus Linux で」というような、「ベアメタルスイッチ」を目指す動きも活発さを増してきました。
さらに “ 制御する側の SDN” に対し “ 制御される側の NFV (Network Functions Virtualization)” の領域では、当初議論の「キャリアむけの特殊機能の、x86 サーバ上でのソフトウェアでの実現」に加え、より身近な「仮想ルータ」や「仮想アプライアンス」なども、NFV と呼べなくもありません。
今年の Interop では、以上のように論点の尽きない SDI/SDN や NFV について、さまざま側面から捉えつつ議論を試みます。品川で開催される以下のセッションらに加え、幕張の展示会場では出展各社のブースおよび『SDI ShowCase』で、これらの実現の度合いを体感していただけます。

■ インターネットファブリック・SDI

- **C1-05　SDN ソルーション　～生き残るための条件を考える～**
- **C2-07　SDN 革命：ルータ・スイッチに何が起こっているのか？**
- **C2-06　Ethernet Fabric：SDI/SDN 時代に要求される機能**
- **C2-05　ネットワーク仮想化技術：L3 オーバーレイ方式の進化の行方**
- **C1-03　NFV の現状と可能性**

私のお薦めセッション



株式会社企
代表取締役
クロサカ　タツヤ

インターネットは日常社会のあらゆる面に普及し、社会システムそのものをドライブする存在になりつつあります。人はもちろん、様々なモノや空間がネットに接続された結果、そこから生み出されるビッグデータは、経済価値はもちろん、私たち人間がよりよく生きるための不可欠な資源として、大きな注目を集めています。また、2011 年春に起きた東日本大震災によって、地域の絆やコミュニティの価値が大きく見直されるなか、人間生活のより細やかな部分にも手をさしのべられるインターネット技術の利活用は、新たな社会システムの（リ）デザインに不可欠なものとなってきました。
そんないまだからこそ、あえて「インターネットはどこまで社会に普及したのか」という問いを、Interop に集う皆さんと、改めて考えてみたいと思い、セッションを用意いたしました。インターネット商用化が 20 年を過ぎ、普及が進んだことで、先進的に取り込む人や組織と、まだ道半ばという方々のギャップも顕在化しています。そうした課題をいかに克服していくのか、コミュニティの現場はもちろん、政策立案も含め、様々な最前線で奮闘されるエキスパートを集め、次なる 20 年に向けたインターネットの役割を、明らかにします。

■公共・政策

- **C1-04　公共無線 LAN：災害に備えての役割と運用**
- **C4-05　成長戦略の柱となる通信政策の本質**
- **C4-06　自治体版 IT 戦略　～自治体の IT 化～**
- **C4-07　自治体版 IT 戦略　～ IT 企業誘致～**
- **C4-08　オープンデータで儲けるために必要なこと　～ビジネス事例の分析～**

私のお薦めセッション



株式会社富士通研究所
システムソフトウェア研究所
システムマネジメント研究部
主任研究員
野村　祐士

企業システムは大きな転換点にあり、システムに携わる担当者の悩みは尽きません。一つは、クラウドに始まり SDN やビッグデータなど最新技術をどのように自社に活用するか、という「未来」「攻め」の悩み。もう一つは年々複雑化するシステムを、いかにトラブルを少なく運用しつつエンハンスするという「現在」「守り」の悩み。今年は特に「現在」「守り」の悩みに技術の切り口で答えるセッション、そして、技術以外の切り口が豊富なセッションを増やしたことが特徴です。
例えば、ビッグデータに関しても、ネットワークを含むシステム観点で悩みに答える事例を知ることができるなど、Interop ならではの企画を用意しました。加えて、技術だけでなく組織のあり方にも踏み込んだセッション、もちろん、デスクトップ仮想化、SDN など、継続的なウォッチが必須の技術動向も網羅しています。
展示会やネットでは得られない「ここだけ」の情報が得られる Interop のコンファレンス・セッションは、確かな将来へのトレンドを先取りしつつ、現在の問題解決にも役に立てると考えています。

■エンタープライズ IT・BCP

- **C3-05　トラブル対策と DevOps に活かすシステム運用ビッグデータ**
- **C3-06　Software-Defined Infrastructure を支える次世代仮想化基盤アーキテクチャ**
- **C3-07　デスクトップ仮想化 Top3 ベンダのビジネス戦略**
- **C3-08　実践・事業継続マネジメント（仮）**
- **C2-01　ビジネスシーンにおけるビッグデータの利活用とそれを支える組織**

私のお薦めセッション



大学共同利用機関法人
自然科学研究機構国立天文台
天文データセンター　助教
大江　将史

みなさんがご存じの通り、ワイヤレスＬＡＮ（Ｗｉ―Ｆｉ）は、身の回りの機器に広く普及するようになりました。現在、スマートデバイスやパソコン、ゲーム機など、年間４０００万台を超えるワイヤレスＬＡＮ搭載機器が出荷されています。そして、家や職場、学校はもちろんのこと、街には、公衆ワイヤレスＬＡＮサービスの導入等、利用環境の普及も進んでいます。また、普及に伴いＬＡＮアクセス技術としての利用以外にも、位置特定技術としての活用や、移動体通信サービスに対するオフロードとしての活用、災害時に多くの人が所有するワイヤレスＬＡＮ対応スマートデバイスを活用した被災支援など、ワイヤレスＬＡＮの様々な活用事例が登場しています。技術面でも、ギガビット級の速度を実現する８０２．１１ａｃや、新たな認証方式など、普及しつつもニーズに応じた技術的な進化を遂げています。私のお勧めセッションとして、このような普及から成熟の時代を迎えたワイヤレスＬＡＮの技術動向や、ワイヤレスＬＡＮを最大限に利活用する事例などをテーマとしたものを挙げました。これらのセッションを通して、成熟にあるワイヤレスＬＡＮの動向とその利活用の取り組み事例を通して、ワイヤレスＬＡＮ技術全体の将来像を共有できればと思います。

■モバイル・ワイヤレス

- **C1-01　ワイヤレス LAN 技術　～広がり続ける帯域と用途～**
- **C1-04　公共無線 LAN：災害に備えての役割と運用**
- **C1-08　モバイルネットワーク VS スマホアプリ最前線**
- **C2-02　モバイル時代のインターネット ～ソーシャルプラットフォーム設計最前線から～**

C1-01

■モバイル・ワイヤレス

6月9日（月）10:30〜12:00

ワイヤレスLAN技術 〜広がり続ける帯域と用途〜

Wireless LAN: Diversifications in Many Fronts

講師 Chair/Speakers

Chair	**河口　信夫**	名古屋大学
Speakers	**小林　佳和**	日本電気株式会社
	古川　裕康	シスコシステムズ合同会社

概要 Overview

いま、ワイヤレス LAN の適用分野がさらに拡大しています。高速化技術では、「IEEE802.11ac」対応製品によって「1Gbps を超える高速化」を達成したばかりですが、早くも「IEEE802.11ad」（最大 7Gbps）の実用化が見えてきています。また Wi-Fi 以外の規格との融合・連携も進み、高速通信だけではない“使いやすさ”の追求や、位置情報を利用した「顧客サービス」「行動データ解析」など、「アクセスポイントがセンサーとなった新しいサービス」が始まっています。
しかし一方では、活用の幅の広がりに伴って「乱立するサービス」「多すぎる SSID」「ロケーションサービスとプライバシー」など、さまざまな問題点が明確になってきています。
そこで本セッションでは、このような進化を続ける次世代ワイヤレス LAN に関わる、最新の技術動向と問題点をご紹介します。

C2-01

■エンタープライズIT
■ビッグデータ

6月9日（月）10:30〜12:00

ビジネスシーンにおけるビッグデータの利活用とそれを支える組織

Harvesting and Harnessing Big Data in Business

講師 Chair/Speakers

Chair	**砂原　秀樹**	慶應義塾大学大学院
Speakers	**小間　基裕**	ヤフー株式会社
	衣目　麻里	ヤフー株式会社

概要 Overview

さまざまなビジネスシーンにおいて、「ビッグデータをどのように活用するか」は大きな課題となってきています。しかしながら、「具体的にどのように活用すればいいのか」については、明らかになっていません。
ここでは、Yahoo! JAPAN からその具体的な方策について紹介します。まず Yahoo! JAPAN は言うまでもなく、「日本最大級のユーザベースとデータトラフィック」からの価値創出に取り組み続けてきた、データ利活用の老舗企業です。Yahoo! JAPAN では近年『爆速経営』と称し、ビッグデータの解析結果を活用し素早い判断を行って、「サービスの改善」や「新しいサービスの立ち上げ・運用」を進めています。
こうした新しいスタイルのビジネスモデルを、どのようにして実現しているのか、その『サービスとそれらを支える組織運営』について概説します。さらに、これらのサービスの裏付けとなるデータは、「検索キーワード」から「E コマース関連データ」「ソーシャルメディア」まで非常に幅広く分散しています。こうした中から情報を組み合わせ、『マルチビッグデータを活かしてどのようなサービス・ビジネスが可能になるのか』、いくつかの実践的挑戦についてもご紹介します。

C3-01

■セキュリティ・プライバシー
■BCP

6月9日（月）10:30〜12:00

表も裏も知らずには使えない インターネット暗号通信

〜インターネット暗号通信を安全に使うための必須知識〜

Cryptography in the Internet: Its Risks and Safety Properties

講師 Chair/Speakers

Chair	**門林　雄基**	奈良先端科学技術大学院大学
Speakers	**林　達也**	株式会社レピダム
	菅野　哲	NTTソフトウェア

概要 Overview

インターネットにおける暗号通信は電子商取引の基礎であり、また企業の機密保持などにとってもなくてはならないものとなっていますが、昨年来の一連の報道により、暗号通信の安全性への信頼が大きく揺らいだと考える技術者も少なくないのではないでしょうか。
本セッションでは、「もはや完成され、注目する必要がなくなった」と一般に思われている「インターネット暗号通信における知られざる攻防」にスポットライトをあて、「インターネット暗号通信を安全に使うための必須知識」および「それらの最新知識を手に入れるための国際的動向への関わり方」について紹介します。

C4-01

■データセンタ

6月9日（月）10:30〜12:00

急激な進化を遂げるSSD新技術のロードマップ

Looking Ahead: Technology Roadmap in SSD

講師 Chair/Speakers

Chair	**田中　邦裕**	さくらインターネット株式会社
Speakers	**田中　陽一郎**	株式会社東芝　セミコンダクター＆ストレージ社
	岡田　圭介	日本サムスン株式会社
	田口　栄治	インテル株式会社

概要 Overview

ストレージメディアとして躍進を続ける SSD は、近い将来、「フォームファクタ」「バス I/F」「NAND の構造」等において、大きな変化を控えています。またメーカーも、ユーザに合わせた製品作りを着々と進めています。
次世代の SSD は何がどう変わり、そして使い手にどのような影響を与えるのでしょうか。SSD テクノロジーを牽引する各社を交え、今後のトレンドと展望について解説します。

C1-02

■ セキュリティ・プライバシー
■ BCP
■ エンタープライズIT

6月9日（月）12:50〜14:20

Beyond Zero-day attack
〜ゼロデー攻撃をめぐる攻防〜

Beyond Zero-Day Attack: Realities

講師 Speakers

Speakers	**高橋　正和**	日本マイクロソフト株式会社
	新井　悠	トレンドマイクロ株式会社

概要 Overview

「標的型攻撃」に代表される攻撃事例が知られるに従い、「ゼロデー攻撃」が話題に上ることが増えています。これらには「対策できない」との論調も少なくない中、最新のシステムではじつは多くの対策が取られているのですが、残念ながらあまり知られてはいません。
本セッションでは、「脆弱性を利用した攻撃手法」を概観した後、「システム側の対策」と「攻撃手法の推移」を踏まえた上で、「最新の対策の有効性」と「今後の攻撃の方向性」について議論し、システム管理者が実施すべき対策を提案します。

C2-02

■ クラウドビジネス
■ モバイル・ワイヤレス
■ ニュービジネスクリエイション

6月9日（月）12:50〜14:20

モバイル時代のインターネット
〜ソーシャルプラットフォーム設計最前線から〜

Designing Internet for Social, Mobile Traffic

講師 Chair/Speakers

Chair	**平井　則輔**	ソフトバンクBB株式会社
Speakers	**中里　昌弘**	GMOインターネット株式会社
	黒河内　倫	グリー株式会社
	吉野　純平	株式会社ミクシィ
	岩崎　磨	楽天株式会社

概要 Overview

スマートフォンの爆発的な普及により、ユーザがいつでもどこでもインターネットにアクセスできる環境となっています。従来の「家庭の PC からのアクセスを前提としていた時代」との、インフラ設計の違いは何なのでしょうか？
いち早くモバイルに特化したサービスを実現した事業者の開発秘話を通じ、「来るべきモバイルインターネット時代の設計」について解説します。普段スマートフォンで利用する身近なサービスを通じての解説となるため、技術的な深い知識が無くても、設計におけるノウハウやポイントを身につけられます。また、インターネット技術者として知っておきたい最新トピック・キーワードを取り上げます。

C3-02

■ Interop Core

6月9日（月）12:50〜14:20

インターネットトラフィック 2014

Internet Traffic Landscape 2014

講師 Chair/Speakers

Chair	**永見　健一**	株式会社インテック
Speakers	**福田　健平**	NTTコミュニケーションズ
	熊木　健二	KDDI株式会社
	福田　健介	大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構 国立情報学研究所

概要 Overview

日本では、FTTH に代表されるブロードバンドインターネットの契約者数が約 3,900 万を超え、企業だけでなく一般家庭においても、インターネットは欠かせない情報通信インフラとなっています。また、スマートフォンの普及により、モバイルユーザのインターネット利用も拡大し、かつ、利用場所・利用アプリケーションに依存して、トラフィックの性質も変化してきています。こうしたモバイルユーザのトラフィックの増加・変化に対処するため、公衆無線 LAN の利用も拡大しています。
さらに日々のトラフィクパターンは、「人の行動パターン」による " 定常的なトラフィックパターン " だけではなく、「ゲームの公開」や「OS の更新によるソフトウェアダウンロード」などの " イベントトラフィック " も増えており、ネットワークの設計を困難にしています。
本セッションでは、このような「変わりつつある現状のインターネットのトラフィックパターンやアプリケーション」について、(1) 国内の固定トラフィック、(2) 国内のモバイルトラフィック、(3) 海外のトラフィックの三面から紹介します。

C4-02

■ データセンタ

6月9日（月）12:50〜14:20

これからのデータセンタを知る！
〜DCIMによる大規模化対応〜

DCIM Deployment for Today's Datacenter Growth

講師 Chair/Speakers

Chair	**須藤　武文**	さくらインターネット株式会社
Speakers	**神林　飛志**	株式会社ノーチラス・テクノロジーズ

ほか調整中

概要 Overview

近年、データと処理量の増加に伴い、IT インフラのデータセンタ (DC) への集約・大規模化が急速に進んでいます。従来の DC 事業者のみならず、自社で大規模な DC を保有する事例も増えつつあります。
DC を運営する事業者は、競争力の向上のため、さまざまな取り組みを通して DC の効率化を追求しています。その一つとして注目されているのが、エネルギーや機器・設備などの DC のインフラ全体に関する情報を集約し、コストや安定性、運用業務の最適化に繋げるための仕組み「DCIM (Data Center Infrastructure Management)」です。
「大規模化する DC において、DCIM はどういった効果が期待できるのか」、「どのような実例があるのか」、また「実際の製品や技術動向はどうなのか」について、実務者とメーカーを交え、DCIM の今と未来について解説します。

C1-03

■ Interop Core
■ SDI

6月9日（月）14:40〜16:10

NFVの現状と可能性

NFV: Current Status and Opportunities

講師 Chair/Speakers

Chair	大垣　健一	KDDI株式会社
Speakers	安田　　歩	NTTコミュニケーションズ
	藤本　幸一郎	日本電気株式会社
	菅原　継顕	Palo Alto Networks

概要 Overview

欧州のキャリアの声を発端とした、NFV (Network Functions Virtualization) の動きが拡がってきました。これはいわば、「従来からのキャリアむけの " 専用ハードウェア " ネットワーク機器を x86 サーバの上のソフトウェアで代替してしまおう」というものです。現在、ETSI（欧州電気通信標準化機構）を中心として、標準化が進んでいます。そのような中、「vCPE (Customer Premises Equipment)」「vEPC (Evolved Packet Core)」「vCDN (Content Delivery Networks)」などといった適用事例が、いよいよ現れてきました。
またほかにも、「仮想ルータ」や「仮想アプライアンス」といったネットワークの基本機能の仮想化自体も、本格化してきています。とくに「クラウド・データセンタ」の市場において、大きな成長が期待されています。
そこで本セッションでは、「NFV」のスペクトラムを幅広く捉え、これらの現状と可能性について、事例を交えつつ議論し理解します。

C3-03

■ Interop Core

6月9日（月）14:40〜16:10

DNS HotTopics 2014

DNS HotTopics 2014

講師 Chair/Speakers

Chair	松崎　吉伸	株式会社インターネットイニシアティブ
Speakers	竹田　茂馬	楽天株式会社
	図師　　稔	NTTコム ソリューション＆エンジニアリング株式会社

概要 Overview

DNS はホスト名に対応したレコードを応答する「名前解決サービス」で、おもにホスト名から IP アドレスを調べるために利用されています。インターネットに接続するほとんどの実装が実質的に DNS に依存しており、DNS は接続性と並んでインターネットの重要な基礎的機能と言えます。安定的なサービスの提供のためには、DNS を適切に運用することが必要です。
このセッションでは、ISP やコンテンツ事業者が運用する DNS の状況について「最新の運用状況」を報告するとともに、最近導入の進んでいる「新たな gTLD に関する課題」など、「組織内での DNS やドメイン名運用に関する話題」や「実際に発生した事例」を基に、「安全対策や運用に関する知見」などを紹介します。

C2-03

■ ニュービジネスクリエイション

6月9日（月）14:40〜16:10

激変・進化するアジアインターネットビジネス

Internet Business in Asia: Upheaval or Evolution?

講師 Chair/Speakers

Chair	江崎　　浩	東京大学大学院
Speakers	南　　陽	NTTコミュニケーションズ
	大瀧　浩一郎	NTTコミュニケーションズ
	川村　聖一	ビッグローブ株式会社

概要 Overview

BRICs を中心とした 2000 年台の経済成長はその減速傾向が顕在化し、急激な成長市場は " 次の新興国 " へと遷移してきていることが、いろいろなところで指摘されています。とくに次の新興国の中でも、我が国のビジネスに深い関係を持つ アジアにおけるインターネットビジネスは、依然として 堅牢かつ力強い成長を維持しています。しかし、これら、新しい新興国は、それぞれが固有のビジネス環境を持っており、同一のビジネス戦略では、日本からの市場参入と成功は見込めません。
そこで本セッションでは、アジアにおける、次の新興国の現状を、各国の事情に詳しい方から解説し、現状の把握と今後の方向性を展望します。

C4-03

■ クラウドビジネス
■ データセンタ
■ ニュービジネスクリエイション

6月9日（月）14:40〜16:10

ソーシャルサービスクラウドでのSSD活用術

Effective Use of SSD for Scalable Social Services

講師 Chair/Speakers

Chair	伊勢　幸一	株式会社データホテル
Speakers	長野　雅広	LINE株式会社
	今井　雄太	アマゾンデータサービスジャパン株式会社

概要 Overview

メッセンジャー・SNS・スマートフォンゲームなどのソーシャルサービスシステムにおいて、最も重要なことは、「いかに高速なレスポンスタイムを維持するか」です。そのために、キャッシング、非同期処理や分散技術によって、様々な工夫がなされています。
とくに近年では、「コモディティ化による価格低下」と「大容量化」を背景に、SSD の導入が盛んに実施され、クラウドやホスティング事業者にとっても「SSD を提供すること」が必須となってきています。しかし高性能な SSD は、未だハードディスクと比較してコスト高であり、「システムのどのコンポーネントに SSD を適用するのが最も効果的であるか」を見極めることが、提供者・利用者ともに重要な課題です。
本セッションでは、「LINE での SSD 活用事例」と「AWS における SSD のサービス状況」を踏まえ、「SSD の効果的用法」を検証するのと同時に、「ホスティングやクラウド事業者は今後どのようなストレージサービスを提供していくべきか」を議論します。

C1-04

■ BCP
■ モバイル・ワイヤレス
■ 公共・政策

6月9日（月）16:30〜18:00

公共無線LAN：災害に備えての役割と運用

Provisioning Public Wi-Fi for Disaster Readiness

講師 Chair/Speakers

Chair	**大江　将史**	大学共同利用機関法人　自然科学研究機構 国立天文台
Speakers	**佐藤　　将**	宮城県石巻市役所
	人見　高史	シスコシステムズ合同会社

概要 Overview

東日本大震災においてインターネットは、さまざまな利活用がなされました。
発災直後は、「被害状況や支援要望などの情報共有」や「都市部における帰宅困難者への情報提供・共有」に始まり、復旧フェーズにおいては、「避難所における情報共有」や「娯楽・教育」などにも活用されました。
このようなインターネットの利活用において、公共無線 LAN(公衆無線 LAN) は、当時普及がすすみつつあったスマートデバイスと組み合わせることで、有効なツールとして認知されました。
本セッションでは、“ 次の災害 ” に備えた公共無線 LAN の利活用に取り組んでいるスピーカーを招き、「開放に備えた無線 LAN の構築手法」、その「運用技術」や「開放の時期」、「不正アクセスなどへの対応」、そして「利活用事例」など、“ 開放する立場 ” および “ 利用者の立場 ” における課題を皆様と共有します。

C2-04

■ クラウドビジネス
■ ニュービジネスクリエイション

6月9日（月）16:30〜18:00

海外クラウド事業者から見る日本市場と攻略法

Cloud Computing Market in Japan: the Why and How

講師 Chair/Speakers

Chair	**伊勢　幸一**	株式会社データホテル
Speakers	**田中　邦裕**	さくらインターネット株式会社
	新島　智之	日本アイ・ビー・エム株式会社
	砂金　信一郎	日本マイクロソフト株式会社

概要 Overview

国内データセンタ (DC) 市場の成長は伸び悩んでいます。年平均成長率の予測は、2010 年 1 月時点では 12.8% でしたが、2013 年 9 月には 7.0% に下方修正され、さらに 2013 年 11 月には 6.6% とされました (順に IDC、IDC、NRI によります)。
しかしこのような見通しの下にあっても、昨年マイクロソフトは Azure 日本リージョンを開設し、さらに IBM は今年 SoftLayer の日本リージョンを開設することを表明しています。
現在、供給過剰が懸念される国内 DC 市場において、各事業者が顧客獲得やさらなる市場開拓に苦戦している中、こういった海外クラウド事業者は、どのような市場分析とビジネス戦略および展望をもって日本リージョンを開設し進出してくるのでしょうか。本セッションでは、「海外クラウド事業者における最新ビジネス戦略と動向」を明らかにし、国内 DC 事業者を交えて「日本市場の魅力と可能性、そして攻略法のヒント」を議論します。

C3-04

■ Interop Core

6月9日（月）16:30〜18:00

IPv6 HotTopics 2014

IPv6 HotTopics 2014

講師 Chair/Speakers

Chair	**江崎　　浩**	東京大学大学院
Speakers	**西塚　　要**	NTTコミュニケーションズ
	橘　俊男	グリー株式会社
	印南　鉄也	シスコシステムズ合同会社

概要 Overview

全世界的に IPv6 の導入と普及が加速・本格化しています。日本においては、NGN 上での IPv6 サービス導入の加速化に向けた活動に加えて、NGN 以外のサービスでの IPv6 導入に向けた準備が進められています。その結果、IPv6 普及の加速は、インターネットサービスプロバイダでの対応から、企業網、コンテンツサービスプロバイダ・アプリケーションプロバイダ、そして、スマートフォンを含むモバイル携帯網における対応の議論へとシフトしつつあります。
本セッションでは、IPv6 に関する国内外の最新動向などを展望します。

C4-04

■ データセンタ

6月9日（月）16:30〜18:00

これからのデータセンタを知る!
〜配電と配線編〜

Understanding Future Data Center – Power Distribution and Cabling -

講師 Chair/Speakers

Chair	**西　　宏章**	慶應義塾大学
Speakers	**当麻　哲哉**	慶應義塾大学大学院
	村　　文夫	NTTデータ先端技術株式会社
	宍戸　隆志	さくらインターネット株式会社
	鯉渕　道紘	大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構 国立情報学研究所

概要 Overview

データセンタを裏で支える“配電”や“配線”を主役に、将来のデータセンタのあり方について考えます。
“ 配電 ” については、「直流給電が前提のサーバやラック」、さらには「直流給電データセンタの設置運用例」が出てきています。また、再生可能エネルギーの多くは直流で発電され、バッテリーも直流ですから、それらの有効活用も期待できます。現状での話の主力は「データセンタのラストワンメータを直流化する」というものですが、直流給電はデータセンタといった「大規模設備むけの技術」ではなく、「ラック単位でも取り組める技術」であり、とくにエンタープライズが保有する計算センタや電算室などへの導入も効果的といえます。
“ 配線 ” についても、プラスチック光ファイバ (POF) は低価格化が進んでいますし、性能面でも、GI-POF であればガラス光ファイバ以上の性能を発揮できます (実績値 200m 程度まで)。さらに「団子に結んでも、折れない・伝送能力が落ちない」といった優れた特徴も有しています。とくに広帯域用の配線では、「銅は距離が伸びず芯が太く固いため引き回しが困難」「光ファイバは曲げで問題があり高価」というどっちつかずの状態ですが、GI-POF はラック内どころかサーバ内でも縦横無尽に這わせられます。また、「ボール集光による、ファイバ接合時の位置合わせ精度を緩める技術」や、「配線の実体がなくとも空中を光で飛ばす技術」なども現れています。
これらの技術紹介や事例を合わせて、将来のデーセンタの形を探ります。

C1-05

■ SDI
■ ニュービジネスクリエイション

6月10日（火）10:30〜12:00

SDNソルーション
〜生き残るための条件を考える〜

Survival of the Fittest: SDN Solutions

講師 Chair/Speakers

Chair	**伊勢　幸一**	株式会社データホテル
Speakers	**高嶋　隆一**	ミドクラジャパン株式会社
	井上　一清	株式会社IDCフロンティア

概要 Overview

プログラマブルなネットワークを実現する SDN は、おもにクラウド基盤において「仮想インスタンスと仮想ネットワーク上で実現されること」を前提としています。
しかし、仮想クラウド基盤上でサービスを展開してきた事業者は、システム性能とコストパフォーマンスの観点から、「ベアメタル環境への移行、もしくは併用」を必要とし始めています。実際、「OpenStack Baremetal Deployment」や「Ubuntu MaaS (Metal as a Service)」などを活用した、「仮想環境とベアメタル環境との混在運用技術」が盛んに議論されるようになってきています。
このような市場動向の変化に対し、従来型の仮想環境のみをサポートする SDN ソルーションでは、生き残ることが難くなってきています。そこで本セッションでは、「SDN ソルーションはこれら混在運用の要求に対して今後どのような対応をしていくべきなのか」を議論します。

C2-05

■ SDI

6月10日（火）10:30〜12:00

ネットワーク仮想化技術:
L3オーバーレイ方式の進化の行方

Evolution of Network Virtualization Technologies Using L3 Overlay

講師 Chair/Speakers

Chair	**早川　浩平**	シスコシステムズ合同会社
Speakers	**進藤　資訓**	ヴイエムウェア株式会社
	高添　修	日本マイクロソフト株式会社
	及川　尚	シスコシステムズ合同会社

概要 Overview

VXLAN に代表されるバーチャルオーバーレイ技術が、多くのベンダの製品に実装されてきています。また、各社の製品やソリューションは、「さまざまな利用環境」や「柔軟な利用形態」に対応し、その「オペレーションやプロビジョニングの手法」も進化し続けています。さらに、「ハードウェア製品での VXLAN の実装」も進み、性能やスケーラビリティの面においても対応の拡大が見られます。
本セッションでは、「各社のバーチャルオーバレイソリューションの特徴や最新動向」、および、「今後各社がどのような環境や利用形態でバーチャルオーバレイ技術を展開させ、利用者にどのようなメリットをもたらそうとしているのか」について、パネル形式で解説します。

C3-05

■ BCP
■ エンタープライズIT
■ ビッグデータ

6月10日（火）10:30〜12:00

トラブル対策とDevOpsに活かす
システム運用ビッグデータ

Operational Big Data for Troubleshooting and DevOps

講師 Chair/Speakers

Chair	**野村　祐士**	株式会社富士通研究所
Speakers	**狩野　弘**	株式会社富士通エフサス

ほか調整中

概要 Overview

既存システムと仮想化システムが混在する運用は、これまで以上に難しくなってきています。しかし、従来はノウハウとして共有されていた「運用手順」や「運用データ」の活用が、現場で発生する問題に十分に活かせず、結果的にシステムが大規模に長時間停止する事例も多く発生しています。
本セッションでは、ログ・パケットデータ・性能情報などの運用中に得られるビッグデータを活用することで、「どのデータがどのような場合に役立つのか？」具体例を豊富に紹介しながら議論します。また、トラブル対応だけではなく、運用データを積極的に活用することにより、「新たなサービスの提供」に活かしたり、「運用の自動化」や「DevOps を目指した運用から設計へのフィードバック」など、“運用起点の対応”で考慮すべきポイントを事例を用いてわかりやすく解説します。

C4-05

■ 公共・政策

6月10日（火）10:30〜12:00

成長戦略の柱となる通信政策の本質

Japan's ICT Policy for New Growth Strategy: Updates and Highlights

講師 Chair/Speakers

Chair	**クロサカ　タツヤ**	株式会社企
Speakers	**橋本　岳**	衆議院議員・自民党

ほか調整中

概要 Overview

昨年 6 月に閣議決定された『世界最先端 IT 国家創造宣言』によって、IT 戦略が安倍政権の成長戦略の柱として掲げられていることが、明らかになりました。その後、パーソナルデータやビッグデータの利活用の検討に着手するなど、具体的な取り組みも進んでいます。一方で、2020 年の東京五輪など、日本社会全体に影響を及ぼすイベントや、放送業界の再編など、社会動態の変化も視野に入れた政策テーマも顕在化しはじめました。
こうした状況を踏まえ、IT 戦略のアップデートと今後の注目点を、政策の当事者を招いて明らかにします。

C1-06

■ ニュービジネスクリエイション

6月10日（火）12:50〜14:20

IoT：新市場と基礎・革新技術の予測

IoT: Emerging Markets and Technology Outlook

講師 Chair/Speakers

Chair	**中村　秀治**	株式会社三菱総合研究所
Speakers	**今泉　英明**	株式会社トヨタIT開発センター
	遠藤　雄太	Cisco Systems

概要 Overview

「Internet of Things (IoT)」は、世界を変えていくのでしょうか ?IoT の概念は、ヒト・情報・場所・コンテンツなど、あらゆるモノを対象としています。また IoT の進化系とも言える「Machine to Machine(M2M)」は、さまざまなモノ (デバイスやセンサー) を相互にネットワークで結びつかせ、制御や監視の世界を広げます。
このような IoT は、自動車・交通機関・スマートグリッド・家庭にまで適用が及ぶ可能性を秘めています。さまざまな要素の連携で新たなアプリケーションが生み出されますから、19 兆ドルもの市場規模が予測されています。
本セッションでは、世界に新たなウェーブを巻き起こすであろう IoT に関し、最新のテクノロジーと市場の可能性を、事例とともにパネリストがディスカッションします。

C2-06

■ SDI

6月10日（火）12:50〜14:20

Ethernet Fabric：SDI/SDN時代に要求される機能

Ethernet Fabric: Essential Functions Now and in Coming Years

講師 Chair/Speakers

Chair	**本林　良太**	日本電気株式会社
Speakers	**濡川　慎一**	ジュニパーネットワークス株式会社
	小宮　崇博	ブロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社
	水島　勇人	シコシステムズ合同会社

概要 Overview

いまや「ネットワークがクラウドのボトルネック」とまで言われるようになってきました。これを解消し、仮想化著しいサーバの間を柔軟かつ低遅延に結ぶべく、イーサネット・ファブリックの導入が定着してきています。
近年では、これまで機能的に足りなかったとも言える、「プログラマビリティ」「ネットワークの仮想化」「マルチレイヤのサポート」「長距離伝送」「プロセッシングエリア〜ストレージエリアの連携」といった各面においても、徐々に対応が拡充されてきています。
また、このさき欠かせざる機能として、上述の各機能の向上はもとより、以下のようなテーマも視野に入ってきています：

・SDN 周りでの対応
「OpenStack」「OVSDB (Open vSwitch Database Management Protocol)」「OpenFlow」など
・ブリッジ関連
「L2 over L3」「TRILL over Pseudo Wire」など
・周辺との連携拡大
「I/O 仮想化」「OpenStack Cinder」「Intel TrueScale Fabric」など

そこで本セッションでは、これら今および今後のイーサネット・ファブリック周辺での新技術にフォーカスをあて、「誰が、どういうユースケースで使っているのか / また使うべきなのか」を含め、実践的に議論していきます。

C3-06

■ SDI
■ データセンタ
■ エンタープライズIT

6月10日（火）12:50〜14:20

Software-Defined Infrastructureを支える次世代仮想化基盤アーキテクチャ

Next-Gen Virtualization Platform Architecture for Software-Defined Infrastructure

講師 Chair/Speakers

Chair	**榎本　瑞樹**	日商エレクトロニクス株式会社
Speakers	**尾形　　真**	有限責任監査法人トーマツ
	清水　亮夫	Nutanix合同会社

概要 Overview

クラウド・ビッグデータ・モバイル・ソーシャルの台頭により、企業における IT 基盤は、「第 3 のプラットフォーム」への転換が求められています。そうした中、「汎用サーバと共有ストレージ (SAN/NAS) による IT 基盤」に対して、Google や Amazon、Facebook などで採用されている「分散ファイルシステムを活用した仮想化基盤」に特化したテクノロジーも注目を浴びつつあります。
本セッションでは、「現在の企業データセンタ基盤における SAN/NAS での課題」を整理するとともに、「Software-Defined Infrastructure を支える IT 基盤のあるべき姿」を事例を交えて解説します。
(* 第 1 のプラットフォームはメインフレーム、第 2 はクライアント / サーバ)

C4-06

■ 公共・政策

6月10日（火）12:50〜14:20

自治体版IT戦略 〜自治体のIT化〜

Local Government IT Strategy: Use of IT

講師 Chair/Speakers

Chair	**クロサカ　タツヤ**	株式会社企
Speakers	**三木　浩平**	千葉市　CIO補佐監
	阿部　博則	KDDI株式会社
	大泰司　章	一般社団法人　日本情報経済社会推進協会

概要 Overview

社会保障・税番号制度のスタートや CIO 制度の導入で、地方自治体の IT 化は新たな局面を迎えています。一方で、10-20 年前に IT 化を進めたまま、システム更新がままならず、業務が硬直化するなどの課題を抱えている自治体も少なくありません。また、東日本大震災によって、クラウド環境の必要性が浮き彫りとなるなど、外部環境も大きく変化しています。
こうした状況を踏まえ、本セッションでは、「自治体にとっていま本当に必要な IT 化は何なのか」「ベンダと正しく向かい合うために何が必要なのか」を、明らかにしていきます。

C1-07

■ セキュリティ・プライバシー
■ ビッグデータ
■ ニュービジネスクリエイション

6月10日（火）14:40〜16:10

ビッグデータとプライバシ
〜日本の指針と世界の潮流〜

Big Data vs Privacy: Global Trends and Japan's Guideline

講師 Speakers

Speakers	菊池　浩明	明治大学
	松本　　泰	セコム株式会社
	佐藤　慶浩	日本ヒューレット・パッカード株式会社

概要 Overview

欧米においてプライバシの枠組み合意が成立し、ビッグデータによる価値創造と社会変革が進行するなか、我が国においてもデータ利活用ルールを整備し、ビッグデータやオープンデータを利活用するための取り組みが産官学で進んでいます。
本セッションでは、政策会議『パーソナルデータに関する検討会』での検討をふまえ、「日本のビッグデータ利活用の実務がどのように変容するのか」また「事業展開におけるプライバシの懸念はどのように取り扱われるのか」といった最新状況を解説・分析します。さらに、日本のクラウドサービスの輸出可能性、海外の新制度との関連性・互換性などについても考察を加えます。

C2-07

■ SDI

6月10日（火）14:40〜16:10

SDN革命：
ルータ・スイッチに何が起こっているのか？

SDN Revolution: Understanding Its Impact to Routers and Switches

講師 Chair/Speakers

Chair	中田　　敦	日経BP社
Speakers	兵頭　弘一	アリスタネットワークスジャパン合同会社
	石黒　邦宏	株式会社ストラトスフィア
	小宮　崇博	ブロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社
	宮永　直樹	日本電気株式会社
	及川　　尚	シスコシステムズ合同会社

概要 Overview

いま、クローズドプラットフォームの時代は終わり、ルーティング・スイッチング制御のソフトウェア・管理ソフトウェアは、SDN をきっかけに新たな時代を迎えつつあると言えるでしょう。この流れは、「ユーザによる API を通じた機能の自由なカスタマイズ・追加など」や「オープンソース化時代の到来」を予感させます。
そこで、「SDN と仮想化の流れが従来のルータやスイッチに与える影響は何か？」「新興ベンダにみる製品の方向性やオープン化の流れはユーザに何をもたらすのか？」、これまでのネットワーク設計の常識が変わろうとしている“今”を本セッションで明らかにし、ネットワークテクノロジーの最前線を俯瞰します。

C3-07

■ エンタープライズIT

6月10日（火）14:40〜16:10

デスクトップ仮想化Top3
ベンダのビジネス戦略

Beyond the VDI: Strategies of Top 3 Vendors

講師 Chair/Speakers

Chair	榎本　瑞樹	日商エレクトロニクス株式会社
Speakers	飯島　　徹	ヴイエムウェア株式会社
	竹内　裕治	シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
	高添　　修	日本マイクロソフト株式会社

概要 Overview

デスクトップ仮想化に加え、MDM（モバイルデバイス管理）やMAM（モバイルアプリケーション管理）などの技術進歩とともに、いつでも、どこでも、どんなデバイスでも仕事ができる「オフィスに縛られない働き方」が、現実のものとなりつつあります。
しかしながら、相反する「ユーザ要件（利便性）」と「IT 管理者要件（セキュリティとコンプライアンスの確保）」を同時に満たすことは容易ではありません。
そこで、本セッションでは、デスクトップ仮想化市場を牽引する業界 TOP3 ベンダ各社より、「モバイルデバイスの業務活用を意識した各社の最新技術動向」に加え「導入事例」を交えながら、その光と影についてパネル形式で解説します。

C4-07

■ 公共・政策

6月10日（火）14:40〜16:10

自治体版IT戦略
〜IT企業誘致〜

Local Government IT Strategy: Attracting Enterprises

講師 Chair/Speakers

Chair	クロサカ　タツヤ	株式会社企
Speakers	調整中	

概要 Overview

IT 企業の誘致は地方部の自治体や産業にとって重要な成長戦略のテーマとなっていますが、必ずしも進展しているとは言えません。この背景の一つに、誘致したい側と誘致される側の両方の、実態への理解不足があると考えられます。また、そもそも IT 企業の誘致を進めるにあたって、基礎として必要な知識や要件についても、十分理解・整備されている状況ではありません。
本セッションでは、いくつかの成功事例をもとに、「イケてる IT 企業誘致」の実態と、その実現に必要な要件を明らかにします。

C1-08

■ モバイル・ワイヤレス

6月10日（火）16:30〜18:00

モバイルネットワーク VSスマホアプリ最前線

Inside out: mobile networks vs smartphone apps

講師 Chair/Speakers

Chair	**田中　邦裕**	さくらインターネット株式会社
Speakers	**伊藤　孝史**	株式会社NTTドコモ
	荒川　雄司	ソフトバンクモバイル株式会社

概要 Overview

スマートフォンが携帯電話会社より販売されてから約７年あまり。現在では新規販売端末の多くがスマートフォンで占められています。一般に、従来のフューチャーフォンとスマートフォンでは、端末1台あたりのトラヒック量は「10倍以上違う」と言われており、その結果、携帯電話会社のネットワークトラヒックは毎年2倍以上増え続けています。とりわけ、スマートフォン・アプリケーションによるユーザビヘイビアの変化がネットワークに与える影響は予想以上に大きく、携帯事業者は安定したサービスの継続のために、これらのトラヒックと日夜格闘している状況が続いています。
しかしながら、アプリケーションの作成側・運営側においては、「モバイルネットワークがどのような仕組みで動いていて」「どういう状況で運用上困難な状況に陥るのか」の理解が、あまり広がっていないと考えられます。また「人」が生み出すトラヒックよりも「アプリケーション」そのものが生み出すトラヒックの方が問題になっていることも、まして認識されていない事実と考えられます。
本セッションでは、モバイル事業者2社の最前線で活躍するキーマンと、「ユーザへのデータの送出源」であるデータセンタ事業者の視点も交えながら、モバイルネットワークの仕組みとアプリケーションの関連性について議論します。

C2-08

■ ニュービジネスクリエイション

6月10日（火）16:30〜18:00

ルータ開発 〜生き残るルータはどれだ?〜

Survival of the Fittest: Router Products

講師 Chair/Speakers

Chair	**大江　将史**	大学共同利用機関法人　自然科学研究機構 国立天文台
Speakers	**大久保　修一**	さくらインターネット株式会社

ほか調整中

概要 Overview

「100Gbpsを超える通信速度」「テラビット級の伝送容量」「ナノ秒台の伝送遅延」など、人類の進化を支えるインターネット基盤の大型化や多様化に合わせて、それを支えるべく様々な性能を有したルータ機器やL2/L3スイッチ機器が登場しています。
本セッションでは、エンタープライズ・データセンタ・キャリアにおいて機器を活用する視点から、「インターネットを支えるルータやスイッチング機器の現況と、アーキテクチャのトレンド」を解説します。そして、「活用する立場から見る次世代のシステムデザイン」と、「そのデザインからみる通信機器の進化すべき方向性、課題」を説明します。

C3-08

■ BCP
■ エンタープライズIT

6月10日（火）16:30〜18:00

実践・事業継続マネジメント(仮)

Practical BCP Management

講師 Chair/Speakers

Chair	**野村　祐士**	株式会社富士通研究所
Speakers	**伊藤　毅**	株式会社富士通総研

ほか調整中

概要 Overview

東日本大震災により注目されたBCM(事業継続マネジメント)、およびDR(ディザスタ・リカバリ、災害復旧)。その後も、自然災害だけでなく様々な不測の事態に直面した企業は、BCMをどのように捉え、日常的に何を準備すればいいのか。
本セッションは、昨2013年の開催でも高い評価をいただきましたが、さらにその後のアップデートも加え、BCMの基本的な考え方を分かりやすく解説します。とくに最新の実践事例をもとに、現場で実践できるBCMのあり方と、今後の方向性を明らかにします。

C4-08

■ 公共・政策

6月10日（火）16:30〜18:00

オープンデータで儲けるために必要なこと 〜ビジネス事例の分析〜

Business of Open Data: Case Studies

講師 Chair/Speakers

Chair	**クロサカ　タツヤ**	株式会社企
Speakers	**庄司　昌彦**	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

ほか調整中

概要 Overview

2013 年に開催された G8 サミットの首脳コミュニケで、『オープンデータ憲章』が採択され、日本国内でもオープンデータに対する関心が高まっています。憲章にもあるように、「できるだけ多くのデータを、できるだけ多様でオープンな形式で公開することで、次世代イノベーターを育成する」など、社会変革を目的とした取り組みであることから、さまざまな分野で注目を集めて、アイディアソンやハッカソンなどが開かれています。
本セッションでは、こうした「オープンデータやオープンガバメントのトレンドが、インターネットビジネスやその周辺ビジネスのどの領域にどのような影響を与えるのか」を明らかにします。

有料カンファレンス参加料金（税抜）

料金 パッケージ	通常価格 （5 月 31 日（土）以降）	早期登録価格 （5 月 30 日（金）以前にお申し込みの場合）
1 日券	¥50,000	¥40,000
2 日券	¥80,000	¥70,000

【ご注意】
※上記お申込項目および各種パッケージ料金は、同一の方のご利用を前提としています。
※同一時間帯のセッションを受講することはできません。
※1 枚の受講証内に受講セッションを全て記載してお渡しする形となり、複数名で分割してのご利用は出来ませんので予めご了承ください。
※受講証にはコピー防止のマークがあります。必ず受講される方お一人につき、上記料金をお支払ください。
※会場にてご本人確認を行わせていただく場合がございますのでご了承ください。

カンファレンスプログラム参加要項

登録方法 ▶ 同封の FAX 申込み用紙 **または** オフィシャルサイトより ご登録ください

なお、オンライン登録の場合のみお支払い方法は銀行振り込み・クレジットカードのいずれかをお選びいただけます。
FAX 申込用紙にてご登録の場合には、お支払い方法は銀行振り込みのみとなります。
※請求書については、登録完了後に送られる事務局からのメールをご確認ください。

登録に関するご注意とお願い

●会場の席数には限りがあり、登録者多数の場合ご参加いただけない場合もございます。
●プログラム一覧をご熟読の上、お申込みください。時間帯が重なるセッションは登録いただけませんので、セッション選択時に十分ご注意ください。
●会議資料の販売はいたしておりません。ご登録いただいた方には、別途ご案内するマイページからダウンロードしていただけます。
●スケジュールおよび内容は、一部変更になることがあります。会場の場所と併せて、当日お渡しするガイドブック及び資料で再度ご確認ください。

5 月 30 日（金）18:00 までにお申込みいただきますと、早期登録価格にてご利用いただけます。
更に本ガイドの表紙に記載されている割引コードをご入力いただきますと、早期登録の**税込価格より5％オフ**にてご利用いただけます。
5 月 30 日（金）18:00 以降のお申込みにつきましては、通常価格でのご利用となりますのでご注意ください。

●ご入場範囲

カンファレンスにご登録いただいた方は、カンファレンス受講証にて、幕張メッセ会場で開催される展示会場にも無料でご入場いただけます。ただし、基調講演 / 特別講演、IMC・DSJ・LBJ・アプリジャパンセミナー、展示会場内セミナーは別途事前登録が必要です。

今年はアクセスしやすい都内会場で開催!!

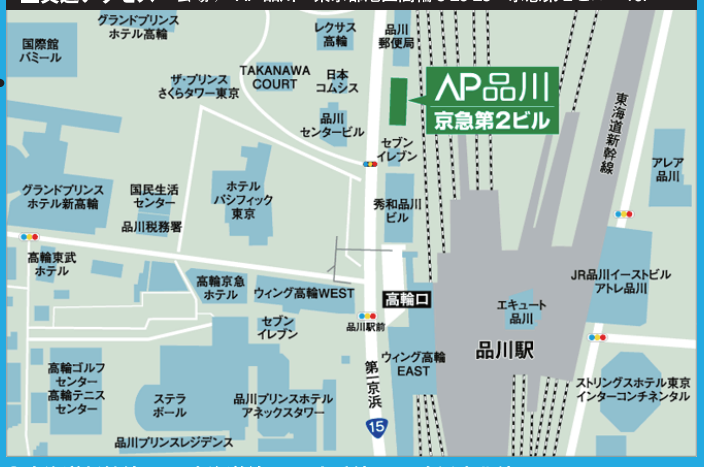
お問い合せ先

●登録事務局／カンファレンスについて
カンファレンス事務局（株式会社ナノオプト・メディア内）
TEL:03-6431-7802　FAX:03-6431-7850
june-conf@f2ff.jp　受付時間 :10:00～18:00

ご登録はこちら

●Interop Tokyo 2014
http://www.interop.jp/

■交通アクセス　会場／AP 品川　東京都港区高輪 3-25-23　京急第 2 ビル　10F



●東海道新幹線・JR 東海道線・JR 山手線・JR 京浜東北線・
JR 横須賀線・京浜急行線
「品川」駅徒歩約 3 分
※羽田空港からは京浜急行快特で品川駅まで 16 分

Copyright(C)2014 NANO OPT Media.Inc. All rights reserved.